

山行報告書

日時	2025 年 7月12日(土)		天候	晴
山名	内住峡沢登り			
CL	aki-taka	参加者	こーちゃん、ひとみ、sara、K口、ねばだずひらい、N川(会員外)	
(コース)	竜岩自然の家駐車場8:00→内住溪入溪地点8:30→内住溪脱溪地点(砂防堰堤)11:30→入溪地点12:00			
(コメント)	(こーちゃん) 激早梅雨明けで、夏空の中で、今年最初の沢登りに行って来ました。 福岡市近郊で日帰りで楽しめる沢登りが出来る所をリクエストしたところ、ピッタリの沢に連れて行って、頂きました。 こんな近くで、ここまで楽しめる沢登りが出来たのは感激です。 リーダーと同行者に感謝です。			
	(ひとみ) 沢登は、気を付けていても、滑ってけがに直結する危険な山行と思っていたので、今まで参加した事は、ありませんでした。 だけど、なんだか楽しそうなので、今回、沢登り初体験をしてきました。 いくつもの滝を高巻することなく、何度もロープを出してくれ、フォローしてくださったTリーダーと元アゼリア会員のN川さんの御陰で、無事にシャワークライミングが出来ました。			
	(ねばだずひらい) 内住溪での、初めての沢登は、夏山の鬱陶しさから、私を解き放ち、幼い頃に置き忘れた冒険心をそっとくすぐってくれた。 清冽な山水に肌を撫でられ、心まで洗われるような感覚。 岩に手をかけ、水を踏み、先頭に行く先輩方のルート取や、ホールドの選び方に目を凝らす時間は、まるで自然という教科書を黙読するかのような感覚。なぜこれほど豊かで心躍る体験を、50年もの間、知らずにいたのか・・・そのことに鋭い後悔を覚える。 だが、今からでも遅くない。この新たな世界への扉を開いてくれたT野さんとN川さんに深く感謝します。ありがとうございました。			
	(K口) 今年初めての沢登でした。 暑い日が続いていたので、曇り空ではありましたが、沢登り日和で、水がとても気持ち良かったです。 ここ数日は、午後のゲリラ雷雨がちよこちょこ発生していたので、水量も多めだったかと思うのですが、上から落ちてくる水の水圧が、すごくて必死に抵抗しながら、登りました。 相変わらず浅瀬の岩場を歩くのが難しくて、速足のリーダーについていくのに必死。 沢登では、やっぱりクライミングの技術がないと「厳しいな～」と痛感しました。 初級コースなら自力で登れるくらいには、なりたいです！			
	(sara) 久しぶりの沢登でした。 滝の登り始めで水深が深い所があり、取り付きまでの泳ぎでちょっと往生しました。 ところどころ難しい登りもあり、気持ちよく楽しめました。Lを初め、参加の皆様にはお世話になり、ありがとうございました。			
	(aki-taka) 今回の沢登は、こーちゃんのリクエストもあり、毎年行っている内住狭の沢登を計画しました。 アゼリアに復帰して、初めての計画でしたが、皆さん喜ばれているようなので、内住溪沢登を計画して良かったと思っています。 まだまだ、暑い日が続きますので、他の沢登の計画を出して行きたいと思っています。			
費用概算	(交通費/人) (その他/人)			

